

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科目名	生理光学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年	学期	後期	教室名	
担当教員	徐 涼夏				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として、大学病院にて、視能検査及び訓練、眼科に係る検査に従事した。				
《授業科目における学習内容》					
調節異常の種類や調節検査について学びます。また調節も関わるAC/A比の意味を理解し、測定できるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験80%、平常点(小テスト、出席)20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版 屈折異常とその矯正改定第6版 理解を深めよう視力検査屈折検査 生理光学ドリル基礎編 滋慶教育科学研究所:滋慶出版,2015					
《授業外における学習方法》					
毎時間の復習をして授業に出席すること。					
《履修に当たっての留意点》					
手技だけにならないように理論の習得を目指す。そのためにも、毎時間の復習、検査結果の振り返りをしっかりと行うこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	屈折矯正検査の流れにそった網膜図を表すことができる	特になし	屈折矯正検査の復習	
	各コマにおける授業予定	屈折矯正検査の復習			
第2回	授業を通じての到達目標	屈折矯正検査の流れにそった網膜図を表すことができる	特になし	屈折矯正検査の復習	
	各コマにおける授業予定	屈折矯正検査の復習			
第3回	授業を通じての到達目標	各種視力の特徴について述べるができる	視能学第3版 屈折異常とその矯正改定第6版	視力の種類復習	
	各コマにおける授業予定	視力の種類(分数視力・対数視力・logMAR値)			
第4回	授業を通じての到達目標	縞視力の計算ができる	視能学第3版 屈折異常とその矯正改定第6版	縞視力の復習	
	各コマにおける授業予定	小テスト 視力の種類(縞視力)コントラスト感度			
第5回	授業を通じての到達目標	小児の視力特徴に基づいた屈折検査の説明ができる	理解を深めよう視力検査屈折検査	小児の屈折検査手技特徴の復習 プリズムの予習	
	各コマにおける授業予定	小テスト 小児の視力・屈折検査の進め方(弱視がある場合)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	調節検査について説明できる	視能学第3版	調節検査の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト 調節について、調節検査の手技とその特徴		
第7回	授業を通じての到達目標	プリズム合成の計算ができる	視能学第3版	プリズム合成の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト プリズムの合成①		
第8回	授業を通じての到達目標	プリズム合成の計算ができる	視能学第3版	プリズム合成の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト プリズムの合成②		
第9回	授業を通じての到達目標	AC/A比の説明ができる	視能学第3版	AC/A比の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト AC/A比とは		
第10回	授業を通じての到達目標	AC/A比を計算にて求めることができる	視能学第3版	AC/A比の復習
	各コマにおける授業予定	AC/A比の計算、輻湊近点、輻湊角		
第11回	授業を通じての到達目標	横倍率の計算ができる	視能学第3版	横倍率の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト 横倍率の計算①(基礎)		
第12回	授業を通じての到達目標	横倍率の計算ができる	視能学第3版	横倍率の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト 横倍率の計算②(応用)		
第13回	授業を通じての到達目標	網膜像の計算ができる	視能学第3版	網膜像の大きさの復習
	各コマにおける授業予定	小テスト 網膜像の大きさ①(基礎)		
第14回	授業を通じての到達目標	網膜像の計算ができる	視能学第3版	網膜像の大きさの復習
	各コマにおける授業予定	小テスト 網膜像の大きさ②(応用)		
第15回	授業を通じての到達目標	立体視の凹凸の計算ができる	視能学第3版	立体視の凹凸の復習
	各コマにおける授業予定	立体視の凹凸の計算①		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科目名	生理光学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年	学期	後期	教室名	0
担当教員	徐 涼夏				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として、大学病院にて、視能検査及び訓練、眼科に係る検査に従事した。				
《授業科目における学習内容》					
調節異常の種類や調節検査について学びます。また調節も関わるAC/A比の意味を理解し、測定できるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験80%、平常点(小テスト、出席)20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 視能学第3版 屈折異常とその矯正改定第6版 理解を深めよう視力検査屈折検査 生理光学ドリル基礎編 滋慶教育科学研究所:滋慶出版,2015					
《授業外における学習方法》					
毎時間の復習をして授業に出席すること。					
《履修に当たっての留意点》					
手技だけにならないように理論の習得を目指す。そのためにも、毎時間の復習、検査結果の振り返りをしっかりと行うこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 6 回	授業を通じての到達目標	立体視の凹凸の計算ができる	視能学第3版	立体視の凹凸の復習	
	各コマにおける授業予定	立体視の凹凸の計算②			
第 1 7 回	授業を通じての到達目標	検査を正確に実施し、検査結果を読み取ることができる	各種教科書 配布プリント	検査結果から考察する	
	各コマにおける授業予定	調節検査・AC/A比測定・コントラスト感度①			
第 1 8 回	授業を通じての到達目標	検査を正確に実施し、検査結果を読み取ることができる	各種教科書 配布プリント	検査結果から考察する	
	各コマにおける授業予定	調節検査・AC/A比測定・コントラスト感度②			
第 1 9 回	授業を通じての到達目標	検査を正確に実施し、検査結果を読み取ることができる	各種教科書 配布プリント	検査結果から考察する	
	各コマにおける授業予定	調節検査・AC/A比測定・コントラスト感度③			
第 2 0 回	授業を通じての到達目標	検査を正確に実施し、検査結果を読み取ることができる	各種教科書 配布プリント	検査結果から考察する	
	各コマにおける授業予定	調節検査・AC/A比測定・コントラスト感度④			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	検査を正確に実施し、検査結果を読み取ることができる	各種教科書 配布プリント	検査結果から考察する
	各コマにおける授業予定	調節検査・AC/A比測定・コントラスト感度⑤		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	1～21回までの内容を理解し、説明できる	各種教科書 配布プリント	総復習
	各コマにおける授業予定	練習問題①		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	生理光学実習 総まとめ	各種教科書 配布プリント	総復習
	各コマにおける授業予定	練習問題②		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			